

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	馬場 和久、専任教員				
授業方法	演習	単位・必修	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
 研究内容の説明ができる。
 研究内容に関して討議することができる。
 実験、観察、調査で得られた結果について討議し、文章にまとめることができる。
 研究内容・成果をスライドにまとめて発表することができる。
 研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

研究に取り組む態度、研究の進め方、作成した論文および研究発表等を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究・卒業論文の概要	配属ゼミの決定、配属ゼミの専門・研究内容について
2	卒業研究・卒業論文の概要	卒業研究の進め方について 卒業論文の提出：1月初旬、卒業研究発表：2月下旬（予定）
3	卒業研究・卒業論文の概要	卒業論文の構成について 卒業研究における倫理について
4	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索
5	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索
6	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの決定、研究方法の検討
7	卒業研究の実施	研究テーマ（グループ研究、個人研究）をゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究計画の作成
8	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。 実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
9	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。 実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。 実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。 実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。 実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。 実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
14	卒業研究の実施	前期卒業研究における進捗状況の報告（中間報告）
15	卒業研究の実施	中間報告をもとに研究計画の再検討と見直しを行う。 後期卒業研究の研究計画を作成する。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修「論文の書き方・まとめ方」第一出版
 日本栄養改善学会監修「初めての栄養学研究論文」第一出版
 国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
 ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。
 研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。
 各ゼミの指導教員により授業実施日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討議するよう心がけること。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	馬場 和久、専任教員				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマ（グループ研究および個人研究）を決定し研究を行う。研究結果を解析・考察し論文にまとめる。また研究内容・成果を口頭またはポスター発表する。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修「論文の書き方・まとめ方」第一出版
日本栄養改善学会監修「初めての栄養学研究論文」第一出版
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業の到達目標》

問題発見、解決、提案する力を身につける。
実験、観察、調査を通して調べたことを、文章や図表にまとめることができる。
研究内容を説明、討議することができる。
研究内容・成果を発表することができる。
研究内容・成果を論文としてまとめることができる。
研究倫理を遵守できる。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。卒業研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミの指導教員により授業実施日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《成績評価の方法》

研究に取り組む態度、研究の進め方、作成した論文および研究発表等を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討議するよう心がけること。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究の実施	後期卒業研究の研究計画の確認。研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
6	卒業研究の実施	実施した卒業研究の内容・成果をまとめ、報告を行う。 卒業研究の内容・成果の論文化（グループ研究論文、個人研究論文）の検討
7	卒業研究の実施	グループ研究論文の作成
8	卒業研究の実施	グループ研究論文の作成
9	卒業研究の実施	グループ研究論文の作成
10	卒業研究の実施	個人研究論文の作成
11	卒業研究の実施	個人研究論文の作成
12	卒業研究の実施	個人研究論文の作成
13	卒業研究の実施	卒業研究発表資料（スライド、ポスター）の作成
14	卒業研究の実施	卒業研究発表資料（スライド、ポスター）の作成 発表用原稿の作成
15	卒業研究の実施	卒業研究発表（口頭発表、ポスター発表）の練習